

平成30年度 第2回社会教育委員会議

日時 平成30年12月14日(金)

10:00～

場所 印西市文化ホール 2階 大会議室

次 第

1 開 会

2 議長あいさつ

3 会議録署名委員の指名について

4 議事

(1) 平成31年度生涯学習関連予算について

(2) 平成31年度印旛郡市社会教育振興大会について

(3) その他

5 その他

6 閉 会

議事 (1)平成31年度生涯学習関連予算について

【歳入】

	30年度当初	31年度要求	増減額
使用料	9,836千円	9,570千円	△266千円
国庫補助金	1,000千円	1,000千円	0千円
県負担金	40千円	50千円	10千円
県補助金	1,802千円	1,531千円	△271千円
財産売払収入	250千円	250千円	0千円
雑入	1,104千円	1,867千円	763千円
市債	0千円	658,400千円	658,400千円
合 計	14,032千円	672,668千円	658,636千円

【歳出】

班 名	30年度当初	31年度要求	増減額
推進係	13,015千円	24,783千円	11,768千円
文化係	19,890千円	25,984千円	6,094千円
公民館・中央駅前地域交流館	186,252千円	229,706千円	43,454千円
図書館	79,002千円	93,420千円	14,418千円
文化ホール	141,152千円	794,389千円	653,237千円
交流の杜歴史資料センター	14,809千円	17,792千円	2,983千円
歴史民俗資料館	5,507千円	5,768千円	261千円
合 計	459,627千円	1,191,842千円	732,215千円

議事(2)平成31年度印旛郡市社会教育振興大会について

平成31年度印旛郡市社会教育振興大会記念講演講師候補リスト

【オリンピック・スポーツ関係】

講師：富田 洋之（元体操男子選手）

略歴：2004 アテネ 団体 金

2005 メルボルン 個人 金

2008 北京 団体 金

現在 順天堂大学スポーツ健康科学部スポーツ科学科助教授
日本オリンピック委員会専任コーチ

講師：山崎 一彦（元陸上男子400mH選手）

略歴：1992 バルセロナ五輪出場

1995 イエテボリー世界陸上 400mH 7位入賞

1996 アトランタ五輪出場

2000 シドニー五輪出場

現在 順天堂大学スポーツ健康科学部教授
順天堂大学陸上競技部監督
日本陸上競技連盟強化副委員長・強化育成部長
2014～2020東京オリンピック特別対策プロジェクトディレクター

講師：鈴木 徹（パラリンピック陸上走高跳選手）

略歴：2000～2016（シドニー・アテネ・北京・ロンドン・リオ5大会連続入賞）

現在 芸能事務所レプロエンタテインメントとマネジメント所属
東京五輪メダル候補選手、全国各地で教育機関を中心に講演活動を実施

講師：柏原 竜二（元陸上長距離選手 東洋大学出身）

略歴：箱根駅伝往路5区山登り4年連続区間賞（3回区間記録更新）

2012 富士通入社・富士通陸上部入部

2017 27歳で現役引退

現在 富士通アメフトマネージャー、陸上教室、ゲストランナー

【生涯学習・社会教育関係】

講師：野島 正也 研究分野 社会教育学

略歴：1993 文教大学 教授

2009 文教大学 副学長・人間科学部部长

2013 文教大学 学長

2016 文教大学学園 理事長

2018 千葉県社会教育振興大会基調講演講師

演題：人生100年時代に向けた社会教育の課題

講師：小池 玲子

略歴：長野県社会教育委員連絡協議会 会長

諏訪市社会教育委員連絡協議会 議長

2017 千葉県社会教育代議員会基調講演講師

演題：社会教育委員の役割、そしてやりがい

現在 諏訪市ボランティア・市民活動センター運営委員会副委員長をはじめ、さまざまな分野で活躍中。

講師：大野 靖之 シンガーソングライター

略歴：印西市出身印西中学校卒業

2005 メジャーデビュー

2008 人間力大賞受賞

・グランプリ

・内閣総理大臣奨励賞

・人間力開発協会奨励賞

2011 千葉県立我孫子東高等学校の校歌を作詞・作曲

2015 千葉県芝山町立芝山小学校の校歌を作詞・作曲

千葉県印西市立牧の原小学校の校歌を作詞・作曲

2019 印西中学校60周年記念事業講演ライブを行う

現在 歌う道徳講師と呼ばれ日本全国の学校を講演ライブを行い活躍中。(11月末現在 966回開催中)

平成30年 月 日

印西市教育委員会
教育長 様

印西市社会教育委員会議

提 案 書(案)

1. 提案の名称;

印西市社会教育関係団体「情報交換会」の開催

2. 提案の理由;

現在、印西市社会教育関係28団体は、学校教育、生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術分野において社会教育に関する事業を行う事を主たる目的として、自主的、自律的に活動を実施しております。

さらにその事業活動の充実と活性化を目指して、まずは28団体が一堂に会し、情報共有や意見交換する場を設ける事を提案します。

3. 現状分析;

① 平成30年3月、印西市教育委員会より発行の「印西市教育振興基本計画」の策定時に実施された社会教育関係団体意向調査の結果によると、活動における課題として、「会員の減少」、「市民や地域への活動情報の提供」、「メンバーの高齢化・固定化」、「活動場所の確保」等が挙げられています。

② 現在28団体が集まる機会がなく、各団体が日々どのような活動を行い、どのような課題を抱えているのか等他団体の状況を知る機会がありません。

4. 提案の内容;

印西市教育振興基本計画のリーディング施策である、循環型生涯学

習のための基盤づくり、「地域の生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術の活動や人材の情報共有や交流を進めます」に対して、本社会教育委員会議では、ひとつの施策として、社会教育関係28団体が一堂に会する場を設け、他団体に協力を求めたいこと、自団体で所有しているノウハウの情報提供や意見交換等を行い、

団体相互の連携と交流を図っていく機会をつくる必要があると考え、社会教育関係団体情報交換会の開催を提案するものです。

5. 期待される効果；

印西市社会教育関係28団体の連携、協力体制の強化を図る事により活動内容の充実と活性化が可能となり、社会教育の発展と地域住民のコミュニティー形成活動の推進につながる可能性があります。

<期待される効果の具体例>

- ・幅広く情報交換することにより、他団体を知ることが出来る。
- ・関係団体に対する視野が広がり、自団体の活動内容が広がる。
- ・各団体が持っているノウハウを相互に交換、提供し合う事が可能となりその後の活動の活性化に繋がる。
- ・各団体の活動意欲を高め、認め合うことができる。
- ・他団体の活動プログラムを知る事により、自団体を考え直すきっかけとなる
- ・団体相互の交流に発展する可能性がある
- ・活動時の人手不足が、他の団体員が加わる事で解消できる。
- ・会員の減少の課題を共有することで、人材豊富な他団体と解決に向けた意見交換ができ、活動継続の可能性が出てくる。
- ・新しい会員の発掘につながる。
- ・下部団体の状況が把握出来る。

6. 添付資料；

- ・印西市社会教育関係28団体リスト
- ・平成30年度社会教育委員名簿